

不織布付ジオテキスタイル

耐流速
3m/s

グリットシーバーV3

ジオテキスタイルによる補強効果と全面に一体化させた不織布による吸い出し抑制効果により、安定した早期緑化を実現します。

Aタイプ ネット + 不織布 + 種子 + 肥料

一工程で緑化と補強が可能。
グリットシーバーV3張付後、覆土をすることにより早期に安定した緑化を実現することができます。

高津川
【島根県】



Bタイプ ネット + 不織布

他工法と組み合わせが可能。
自然石護岸工との併用や植生待ち受け型としても施工できます。



施工手順



■ は共通項目 ■ はAタイプのみ ■ はBタイプのみ

構成材料

グリットシーバーV3



グリットネット		不織布	製品規格				
グリット目合 (mm)	基布		長さ (m)	幅 (m)	ネット	備考	
8×8	ポリエステル (アクリル被覆)	ポリエステル	Aタイプ	10.00	1.05	2本/包 (20㎡)	種子・肥料付
			Bタイプ	10.00	1.05	5本/包 (50㎡)	

● 天端部および堤脚部の処理

天端部及び堤脚部を10cm程度超える位置でグリットシーバーV3を切断します。端部については初期めくれが発生しない様、10cm程度堤体内に埋め戻しを行います。

● 上流および下流端部の処理

上流および下流端部には、階段工や端止めコンクリートを設けグリットネットを敷き込みます。グリットシーバーV3敷設後、グリットシーバーV3を覆うようにグリットネットを折り返します。



実績紹介

Aタイプ

堀切川【宮城県】

堀切川は、宮城県仙台市を流れる名取川水系広瀬川の支川です。水害対策として、越流した箇所の河床を下げて施工しています。



Bタイプ

孫兵衛川【群馬県】

群馬県の利根川水系の一般河川です。生態系や景観を考慮し、Bタイプに覆土をした植生待ち受けタイプです。



災害地での事例

令和元年東日本台風

台風19号

Aタイプ 相野谷川【茨城県】

あいのたにがわ

施工後7カ月経過し、大部分が緑化されていた。10月12日の台風19号通過後も被害はなかった。水際に近い箇所には植生がなく、この高さまでは頻りに水に浸かっていると考えられる。

水際のアップ



Aタイプ 原高野川【福島県】

はらごやがわ

台風19号の影響により、グリットシーバーV3の施工箇所まで水位が上昇した。また、上流端部は増水時には水衝部となる箇所であったため、前面に袋詰め玉石を施工し、直接水が当たらないようにした(写真1)。上流端部も含め、めくれ等の被害はなかった。

写真1：上流端部



台風通過前



台風通過後



赤枠内：グリットシーバーV3 施工箇所